

校長室だより



真岡東中 校長室だより

No. 13

2017/07/20/Thu

海の記念日(1941年)、1学期終業式
天明の大飢饉 1793年
国民の祝日決まる 1948年
アポロ11号、初の人間月面着陸1969年

チームひがし…生徒・教職員・家庭へ向けての校長通信

充実の夏休みへ…式辞&1学期の写真とともに…

①自分を变えよう ②振り返り、学び続けよう ③夏休みにしかできない体験をしよう！

入学式から4か月…授業をはじめ、様々な行事で東中らしさを発揮した頼もしい生徒たち。本当によく頑張りました。今日は1学期終業式です。

1学期の朝会では、次の3つ(KFT)について話しました。



①K＝考えることを楽しむ(漢字熟語から)＝

②F＝復習の大切さ(エビングハウス忘却曲線から)

③T＝友達(「となりのたぬき」から)

君たちは実によく反応してくれ、それを実践しようとしてくれたように思います。そこで、本日の終業式では主に次の3つ(KFT)について話しましょう。

①K＝変えよう ②F＝振り返ろう ③T＝体験しよう

①「人は変わる」…でも自分は変わるではなく「自分を変える」

人は成長し変わります。勉強や部活動は1日では成長が見えない＝変わったことが分からないものです。成果は、時間が経過しないと見えてきません。

自分では気付かないかもしれませんが、4月に比べたら君たちは本当に成長しました。

入学式に慣れない制服を着て緊張していた1年生も、今ではすっかり中学生。3年生を支え、時には3年生に代わってリーダーシップを発揮してきた2年生も、今では本校の要。真東を引っ張ってきた3年生は、今では伝統の心意気を引き継いだ立派な最上級生。

これらは自然に変わるものではありません。「自分を変えよう」と意識し行動することにより、自分たちの成長へのエネルギーに変わっていきます。

②1学期を振り返って…君は努力してきましたか？

「努力は成功を約束してくれないが、成長を約束してくれる」という言葉があります。6月の朝会でエビングハウスの忘却曲線を紹介し、復習の大切さをもう一度確認し、学び続けることの大切さについて話しました。その後を振り返って、君たちは復習をしてきましたか？学び続けようと努力してきましたか？努力は必ず君たちの成長へと導きます。

③夏休みにしかできない体験をし、充実した夏休みに！

教室以外の場所で様々なことを体験してほしいと思います。大会やコンクール…今までの練習で培ってきたものを出し切ってくる＝全力を尽くすこと。自分を、仲間を信じて、思う存分戦い、演奏してきてほしい！そこで出会った人たちとも語り合ってください。親戚の人や懐かしい人たちと会ったり、家族で出かけ語り合ったり…。

夏休みは気持ちと行動次第で更に大きく成長するとき。病気や事故などに注意し、健康にはくれぐれも気を付けて、充実した夏休みにしていきましょう。2学期に、一段とたくましくなった君たちと会えることを楽しみにしています！



充実の夏休みへ…保護者の皆様へお願い

夏休みに確かな学力を身に付けるために 家庭でできることは何かあるでしょうか？

夏休みは生徒が学校を離れ、家族の一員としての自覚を高めたり、社会的な行事へ参加したりするよい機会です。更に、自然とふれ合うなど豊かな生活や自分が興味・関心のあるものに対する調査研究等を通して自主的・計画的な学習をするのにもよい機会です。より多くの人との出会いや体験は、自分の将来や職業に対する進路観を形成するのに役立つことでしょう。そんな夏休みの意義を積極的に生かし充実したものにするために…確かな学力を身に付けるには家庭は何をすべきなのか？このことを考えてみましょう。



↑7/12 流しそうめん

「確かな学力を身に付けさせるために家庭でできることは…」子どもを塾に行かせたり、子どもに勉強しなさいと繰り返し訴えたりすることでしょうか？もちろん、これを否定するものではありません。私は「家族の一員として確かな学力が身に付けられるような家庭環境にしてあげること」が大事な点だと考えています。そこで、保護者の皆様へ6つのお願いをさせていただきます。ご協力をお願いいたします。

1 子どもに責任のある仕事をもたせてほしい＝家族の一員

できれば毎日ある手伝いがよいと思います。家族の一員であることを自覚させるとともに、その仕事に対する責任を持たせたいのです。

2 家族ぐるみで生活リズムを崩さない取組をしてほしい＝生活スタイルの確立

非行の第一歩は生活リズムの崩れにあると言われています。朝、起きることから始まって、一日の生活スタイルの確立に向け、家族ぐるみでぜひ取り組んでほしいと思います。

3 しっかりと手作りの食事を食べさせてほしい＝確かな食生活

生活リズムとともに、最近特に注目されているのが「食生活」。非行少年たちが、いかに手抜き食の食事、インスタント食品で生活していたかの実態を知ると恐ろしいほどです。確かな学力を身に付けるには、まず、しっかりとした食生活からです。冷たいものの飲み過ぎにも注意しましょう。

4 子どもとの語らいを多く持ってほしい＝家族団らん

うるさがないで子どもとの語らいの場や機会を多く持ってほしいのです。今こそ「親の出番」です。ぜひ、保護者の皆様にもがんばってほしいです。進路を考える大事な時期でもあります。「勉強しろ！」「高校へは行け！」だけでは……？

5 子どもの変化に敏感になってほしい＝子どもへの関心

子どもの言葉づかい、服装のちょっとした変化が非行への芽であると言われています。もし、そうした変化に気づいたり気にかかったりしたら、すぐに担任と連絡を取り合って指導していきたいのです。友人関係の変化も同様です。

6 親の姿、特に働く姿をできるだけ見せてやってほしい＝生きた進路指導

夏休みはとてもよい機会です。すぐに実行できるものではないかもしれませんが、ぜひそうした場を設けていただきたいと思います。それが、素晴らしいキャリア教育になると考えています。



「絵本の世界」～子どもから大人まで楽しめる本～

7/5(水)朝会講話～「となりのためき」から②

・絵本は小さい子が読むものとか、読書の本として適していないというイメージが強かったが、絵本から生きていく上での教訓を学べるのが分かった。相手との関係は自分の接し方しだいで変わって

くるということを感じた。夏休みを利用して絵本も読んでみようと思った。(2-1 M)

・お互い良いところを見つけると、悪いところも良く見えてきて、いい人だな～とお互いに仲良くなれることを知りました。お月様は、2人が仲良くなれると思い、1か月考える時間を与えたのだと思います。私も、すぐ嫌いだとは思わず少しずつでも良いところを見つけ生活していきたいです。(3-3 O)